

【オーストラリア】2016年連邦議会選挙と主要政党の政策

海外立法情報課 芦田 淳

* 2016年7月、連邦議会選挙が実施され、下院議員選挙では保守連合が過半数の議席を獲得した。連邦議会選挙において争点となった政策に関しては、主要政党間で主張が分かれており、労働党等の政策に沿った保守連合政府の政策見直しも予想されている。

1 両院同時選挙の経緯等

2016年7月2日、1987年以来の上下両院解散による両院同時選挙が実施された。今回の解散は、上院と下院の間で法案に対する見解が相違した場合に、最終的な解決方法として、連邦総督が両院を同時に解散できるという連邦憲法第57条の規定に基づくものである。なお、下院の任期3年に対して、上院の任期は、6年で通常は3年ごとに半数改選される。

2 連邦議会選挙結果

下院議員選挙（定数150）については、保守連合が前回の2013年選挙時より得票率及び議席を減らしたものの、76議席を獲得して過半数に到達した（下表参照）。この結果を受けて、7月10日には、保守連合が勝利宣言を、労働党が敗北宣言を行った。

表 2016年及び2013年下院議員選挙結果の比較

政党（連合）名		得票率（%）			獲得議席数		
		2016年	2013年	較差	2016年	2013年	較差
保守連合	自由党	28.67	32.02	-3.35	45	58	-13
	自由国民党	8.52	8.92	-0.4	21	22	-1
	国民党	4.61	4.29	+0.32	10	9	+1
	地方自由党	0.24	0.32	-0.08	0	1	-1
	（合計）	42.04	45.55	-3.51	76	90	-14
労働党		34.73	33.38	+1.35	69	55	+14
緑の党		10.23	8.65	+1.58	1	1	0
その他		12.98	12.38	+0.6	4	4	0

（出典）オーストラリア選挙委員会サイト<<http://vtr.aec.gov.au/HouseDefault-20499.htm>> を基に筆者作成。

これに対して、上院議員選挙（定数76）については、保守連合が労働党に得票率で上回るものの、過半数の議席獲得には至らないと予想されている（注1）。また、2016年3月の法改正によりグループ投票チケットを廃止した（注2）結果、従来のように小政党が得票率の多少にかかわらず議席を獲得することはない見込みであるが、二大政党（連合）以外の小政党の得票率自体は前回選挙に比して増加している。

3 連邦議会選挙における主要政党の政策等

連邦議会選挙では、保守連合は経済成長、労働党は格差是正を主に掲げており、緑の党は後者に近い立場を採った。代表的な争点に係る各党の政策は、次のとおりである(注3)。

(1) 法人税減税の可否及び規模

保守連合は、法人税を年間売上げ1000万豪ドル(1豪ドルは約80円。以下「ドル」)未満の企業について28.5%から27.5%に引き下げ、2026-27年度までには全企業について25%に引き下げるとした。これに対して、労働党は、年間売上げ200万ドル未満の企業についてのみ27.5%への引下げを主張した。緑の党は、法人税率引下げに反対であった。

(2) 学校及び大学に対する支出のあり方等

労働党政権期(2013年)の教育改革に基づく学校財政支援の最終2か年分として、労働党及び緑の党が45億ドルの支出を主張したのに対して、保守連合は12億ドルの支出を主張した。また、大学に関しては、保守連合が関連支出の20%削減や授業料値上げを主張したのに対して、労働党は学生への助成増額を求める一方、支出削減の観点及び職業訓練費用に係る貸付が適切に使用されていない問題を踏まえ、当該貸付の規模縮小を主張した。

(3) メディケア・リベートの物価スライド凍結延長の可否

925億ドルの支出削減になるとして、メディケア・リベート(一般診察医への政府補助金)の物価スライド凍結延長を主張する保守連合に対して、労働党は凍結解除を主張した。凍結延長に関しては、診察コストが増加していても補助金が増額されないため、患者の自己負担増加につながるとの批判があった。

4 選挙後の対応等

選挙結果を踏まえ、保守連合が継続して政権を担うことになったが、二大政党(連合)間の議席数は僅差であり、政策上も差異がある。さらに、上院は下院とほぼ対等な権限を有しているため、今後政権にとり厳しい議会对応が予想される。実際に、法人税減税の規模縮小等、労働党等の政策に妥協した形での政策見直しが報道され始めている。

注(インターネット情報は2016年7月14日現在である。)

- (1) 各政党の議席の内訳については、保守連合28、労働党27、緑の党8、小政党8、未確定5(*Sydney Morning Herald*, July 5, 2016, p.4.)等の予測が見られた。(なお、解散前の各政党の議席の内訳は、保守連合33、労働党25、緑の党10、小政党4、無所属4となっていた。)また、上院議員選挙制度は単記移譲式比例代表制のため、議席の確定に時間を要する。同制度の概要については、佐藤令「諸外国の選挙制度—類型・具体例・制度一覧—」『調査と情報—ISSUE BRIEF—』721号, 2011.8.25, p.6. <http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_3050467_po_0721.pdf?contentNo=1&alternativeNo=> を参照。
- (2) 2016年3月の法改正の内容及びグループ投票チケットの概要については、同上, p.6.及び芦田淳「【オーストラリア】連邦上院選挙制度に関する見直し」『外国の立法』No.267-2, 2016.5, pp.18-19. <http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_9974280_po_02670209.pdf?contentNo=1> を参照。
- (3) 各党の政策に関しては、次のオーストラリア放送協会(ABC)サイトの整理を主に参考にした。 <<http://www.abc.net.au/news/2016-05-25/key-issues-where-the-parties-differ/7421638>>